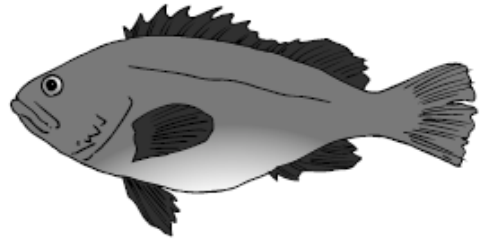


# クロソイ

*Sebastes schlegelii*

地方名  
 そい、ながら、くろから  
 (深浦)、くろすい、すが  
 ら(八戸)、ねぞい(陸奥  
 湾)



## 生態

寿命：不明  
 成熟：3歳以上  
 産卵期、産卵場：卵胎生。12月～1月に交尾し6月～7月に浅所で産仔。  
 分布：日本各地、朝鮮半島、中国に分布し、青森県では全域の岩礁域に分布。  
 生態：1～2歳魚は沿岸の藻場、岩礁域に生息し、成長に伴って沖合の天然礁、人工礁に移動。水温の高い夏～秋は深所に移動し、水温が低くなると浅所にも生息。

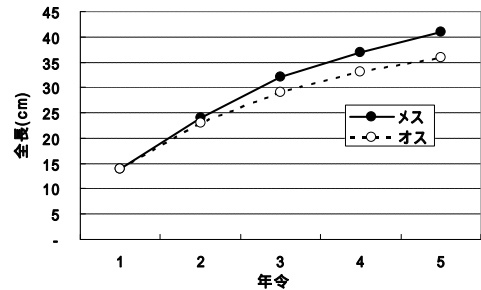


図 青森県におけるクロソイの成長

## 主な漁業

定置網、籠、一本釣等で春季及び秋季に多くが漁獲される。

## 資源評価

県統計では「そい類」としてキツネメバル(マゾイ)等と一括で集計されており、クロソイに関する長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は昭和51年の250トンを超えて減少傾向にあったが、平成2年から平成10年にかけて増加した。その後再び減少傾向にあり、近年は140トン前後で推移している。

水産総合研究センターが調べた平成13年以降の県内主要18漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量ではクロソイの割合が高く、クロソイでは漁獲量は近年横ばい、キツネメバルでは近年増加傾向であった。

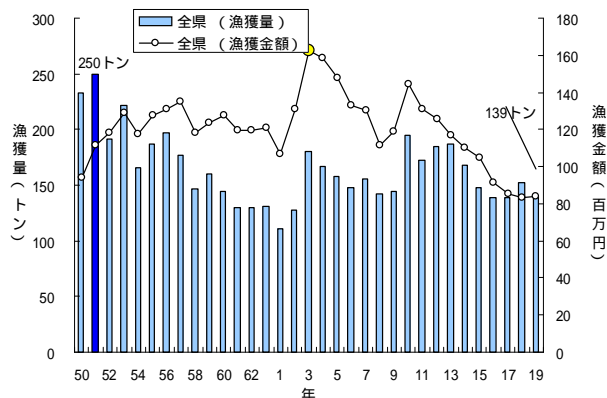


図 そい類の漁獲金額 (県統計)

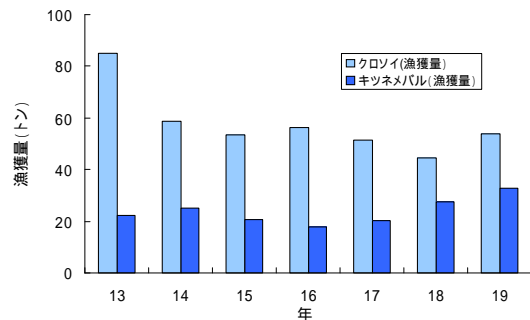


図 主要18漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量 (水産総合研究センター調べ)

## 資源を上手に利用するために

資源管理計画 (風合瀬漁協 平成7年3月)

- ・ 15cm未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。
- ・ 上記のような小型魚漁獲を自粛する取り組みを継続することが必要。

